

昭和36年1月16日第3種郵便物認可 昭和53年8月1日第241号 (毎月1回1日発行1部30円)

全 仏

NO. 241

8 / 53



地方大会々場

〈川越市・喜多院〉

西に、秩父の山々をのぞむ関東の沃野埼玉県の中央に位置する川越市。ここに徳川家ゆかりの名刹・喜多院がある。境内には東照宮、多宝塔、五百羅漢などがあり、地方大会が開催されたあと境内参拝をする。

財団法人 全日本仏教会



日本大会の準備進む

海外代表団 四百名が参加

第十二回世界仏教徒会議(WFB)日本大会の開催まで、残すところ六十日余となり、約四百名の海外代表団を迎え入れるWFB事務局はもうそろそろ、実行委員会各委員会も、大会日程しそって各

々の部門で検討を重ね、暑さも忘れて準備に余念がない。事務局も会議の連続で、各部門について急ピッチで準備をすすめ、いよいよ煮つめの段階に入る。

会議は大別して二部

本部主管と委員会担当

日本大会の会議の部は、大きく別けると二つになるが、その一つはWFB本部が主管とする、WFB総会、全体会議、常設委員会や執行委員会、運営委員会、起草委員会等が含まれる。

もう一つは会議委員会が、国内仏教徒と海外代表が仏教諸問題を討議する場として今大会において特に設定した基調講演、分科会、パネルディスカッションなどである。

【執行委員会】九月三十日 東京GH
WFB会長、事務総長、会計、おとひの総

会で選出された四名の委員で構成される。(日本より全仏・鎌田良昭国際部長が執行委員に選ばれている)

【議事】(1)前回執行委員会の確認 (2)新加盟団体の承認 (3)会計報告 (4)大会運営委員の選出案 (5)報告委員の指名 (6)起草委員の選出案など十一案件。

【WFB総会】九月三十日 東京GH
WFB規定により大会の前日に開かれる最高決議機関で、一センター一名の代表により、執行委員会の議事同様の十一案件を討議する。

【運営委員会】九月三十日 東京GH
運営委員により、提出決議案審査、大会運営、参加者資格認定などが行なわれる。

【第一回全体会議】十月一日 築地
総会の報告、運営委員会報告、選出委員紹介などが行なわれる。

【常設委員会】十月三日 東京GH
①財政 ②出版、広報、教育、文化、芸術、③布教、④人道奉仕、⑤団結と連帯、⑥青年の六委員会が開かれ、全代表が配属される。

【起草委員会】十月四日 東京GH
今大会特別の宣言文等を作成する。

【第二回全体会議】十月五日 増上寺
常設委員会報告、採択決議文の承認、宣言文の採択などが行なわれる。

【閉会式】十月六日 京都国際会議場

決議文・宣言文報告、分科会報告などが閉会式の中で行なわれる。

中村元氏が基調講演

【基調講演】十月一日 増上寺

テーマ「仏教徒が思考する未来社会像」
講師 東大名誉教授・中村 元博士

【第一分科会】十月一日～二日
テーマ「近代諸思潮と仏教的思考」

提起者 井上智勇先生
司会者 花山勝友先生

【第二分科会】十月一日～二日
テーマ「アジアの現状と仏教徒の使命」

提起者 藤吉慈海先生



中村博士

【第三分科会】十月一日～二日
テーマ「二十一世紀の僧伽形成」

提起者 西 義雄先生
司会者

【パネルディスカッション】十月二日
メインテーマ「仏教徒の思考する未来社会像」にそって、パネリストによる討論が行なわれ、全参加者に公開される。

パネリスト 菅沼 晃先生
" 斎藤吉中先生
" 雲井昭善先生
司会者 武藤義一先生

特色のある各式典

開会式から地方大会まで

式典部門は、十月一日の開会式から十月六日の閉会式、そのあとの地方大会まで、各々特色のある式次第をくんで準備されている。多少変更がでるが大綱は次のとおり。

開会式

日時・十月一日 午前九時半
場所・東京 本願寺築地別院
◎パイプオルガン演奏、仏教讃歌合唱の中を入場する。

- 1 大会内外来賓入場
- 2 代表団入場(比丘先頭)
- 3 仏教徒追悼法要(築地本願寺)
- 4 大会旗掲揚
- 5 三帰依文(大会副会長)
- 6 TISARANANA(南無比丘)
- 7 開会宣言(WFB会長)
- 8 挨拶(WFB会長)
- 9 式辞(大会々々)
- 10 歓迎の辞(全仏理事長)
- 11 祝辞(来賓)
- 12 第一回全体会議
- 13 各センターメッセージ披露(国王、各国元首よりのものに限定)
- 14 各国土産物贈呈
- ◎閉会の辞
- ◎日程説明(JTB、ISS)
- ◎記念写真

歓迎式典

日時・十月三日 午後四時
場所・東京 国立劇場

◎ステージにWFB会長、本部役員等をおける。

- 1 開会のことは
- 2 挨拶(大会々々)
- 3 歓迎のことは(実行委員長)
- 4 役員、代表団紹介
- 5 花束贈呈(WFB会長)
- 6 お礼のことは(WFB会長)
- 7 閉会のことは

観劇の説明

東京閉会式典
日時・十月五日午前十時二十分
場所・東京 芝増上寺大殿

- ◎雅楽の中を代表団入場
- 1 開会宣言
- 2 稚児の献灯 献花 献香(明徳幼稚園)
- 3 礼拝(パーリー語)
- 4 挨拶(来賓)
- 5 (全仏副会長)
- 6 メッセージ披露
- 7 閉会の辞

閉会式

日時・十月六日 午後四時
場所・京都 国際会議場

- 1 閉会宣言

- 2 三帰依文(導師・山田無文親下)
- 3 挨拶(大会々々)
- 4 (議長団代表)
- 5 分科会報告
- 6 大会宣言決議文(起草委員長)
- 7 土産品贈呈
- 8 謝辞(外国代表)
- 9 大会旗降納
- 10 閉会の辞

代表団退場(パーティー)

妙心寺など十地域で 地方大会を開催予定

四国地区大会 十月七日

場所・鳴門市ドイツ人館など
主催・鳴門市仏教会(協賛・徳島、高知、愛媛、香川の各県仏教会)

招待・ドイツセンター
市役所表敬、ドイツ人墓慰霊法要、交歓会、講演会など。
妙心寺大会 十月七日
場所・京都 妙心寺花園会館
主催・臨済宗妙心寺派花園会
招待・同日他の地方大会へ参加
以外の全センター

代表団紹介、献灯献花の舞、歓迎の辞
メッセージ、提言(おかげさま運動)、謝辞、祝意など。
鴨江寺大会 十月七日
場所・浜松市鴨江寺
主催・鴨江寺
招待・ヒルマ、チベットなど

パーリー語のセミナーを中心に仏教学者をまじえて行う。

高野山大会 十月八日

場所・高野山金剛峯寺
主催・
招待・香港、ヒルマ、タイなど
歓迎式典、山内参拝、歓迎会など
比叡山大会 十月九日
場所・比叡山延暦寺
主催・

招待・高野山同じ
伝統法要のあと山内参拝、歓迎会など
神奈川大会 十月九日
場所等未定

新潟地方長岡大会 十月十一日

場所・長岡市立劇場
主催・長岡市仏教会(後援・新潟県仏教会)
招待・フランス、スイスなど
名跡参拝、檀信徒会の記念大会講演等
埼玉地区川越大会 十月十一日
場所・川越市 喜多院
主催・埼玉県仏教会

招待・台湾、韓国、香港など
会長挨拶、代表紹介、法要、歓迎会、地域寺院参拝など。
栃木地方日光大会 十月十二日
場所・日光市 輪王寺
主催・栃木県仏教会、輪王寺
招待・長岡大会と同じ

世界平和祈願、歓迎会、山内参拝など
※広島大会については、現在広島市仏と七日の線で接渉中である。また十日は移動日としてあいている。

W F B 大会日程

9月29日

◎代表団来日

- 10時00分 代表団登録 東京GH
- 11時00分 昼食 東京GH・芝PH
- 1時00分 大会本部会議 東京GH
- 4時00分 夕食 東京GH・芝PH

9月30日

- 8時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 10時00分 WFB執行委員会 東京GH
- 前回執行委員会の確認、新加盟団体の承認、大会各種委員の選出、その他。
- 11時30分 昼食 東京GH
- 3時00分 WFB総会 東京GH
- 執行委員会の議事、各ゼンター活動報告、その他。
- 6時00分 夕食 東京GH・芝PH
- 7時30分 運営委員会 東京GH
- 提出議案審査、その他。



執行委員会の開かれる東京GH

10月1日

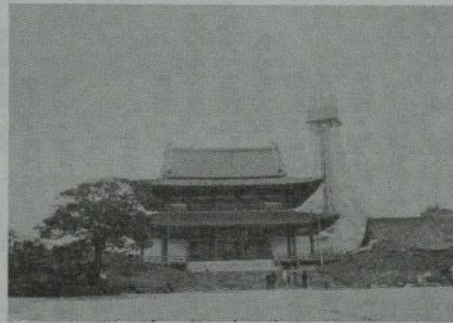
- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 9時30分 開会式(第一回全体会議) 築地本願寺本堂
- 式辞、挨拶、センターメツ
- セージ披露、各国土産物贈呈、その他。
- 11時30分 昼食 築地本願寺



開会式が行われる築地本願寺

- 2時00分 基調講演(中村元博士) 増上寺大殿
- 3時00分 第一分科会 増上寺ホール
- 第二分科会 食堂
- 第三分科会 催事場
- 4時00分 青年部会 講堂
- 6時00分 東仏主催レセプション ホテルオークラ
- 3時00分 WFBY開会式 増上寺講堂

10月2日

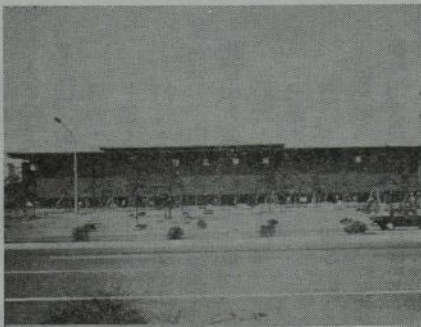


分科会が行われる芝・増上寺

- 7時00分 朝食 東京GH・芝PH
- 9時00分 礼拝 増上寺大殿
- 9時30分 第一分科会 増上寺ホール
- 第二分科会 食堂
- 第三分科会 催事場
- 青年部会 講堂
- 11時30分 昼食 各所
- 3時00分 パネルディスカッション 増上寺大殿
- 6時00分 全仏会長招宴 白金迎賓館
- 11時00分 全日仏婦屋食会 東京GH
- 1時00分 青年部会記念講演とシンポジウム 増上寺講堂

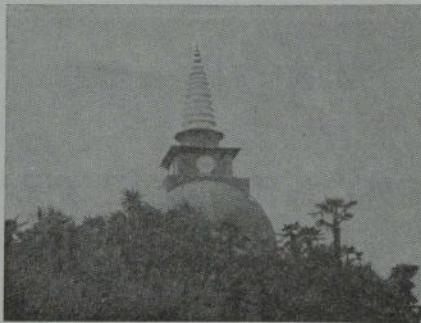
10月3日

- 7時00分 朝食 東京GH
- 9時00分 礼拝
- 9時30分 常設委員会
- (1)財政、(2)出版、広報、教育、文化、芸術、(3)布教、(4)人道、奉仕、(5)団結と連帯、(6)青年
- 11時30分 昼食 東京GH
- 4時00分 歓迎大会 国立劇場
- 大会会長挨拶、歓迎のことは、代表団紹介、WFB会長へ花束贈呈、お礼のことは、観劇。(夕食は昼間)
- 1時00分 記念講演会 読売ホール



歓迎大会の開かれる国立劇場

10月4日



よみうりランド内の仏舎利塔

7時00分 朝食 東京GH・芝PH
9時00分 起草委員会 東京GH

礼拝と見学 読売ランド

仏舎利塔礼拝、ランド見学

歓迎昼食会。

1時00分 自由時間

代表参加者は都内寺院自由

参拝など。

6時00分 夕食 東京GH・芝PH

10月5日

7時00分 朝食 東京GH・芝PH

8時30分 全体会議 増上寺ホール

10時10分 東京閉会式典 増上寺大殿

稚児の献灯献花、礼拝、来賓挨拶、その他。

11時30分 昼食 増上寺各所

2時00分 上洛(新幹線)

6時00分 夕食 新都H

10月6日

7時00分 朝食 新都H

9時00分 本山参拝(京都名利寺院を巡拝する、途中昼食)

4時30分 閉会式 京都国際会議場

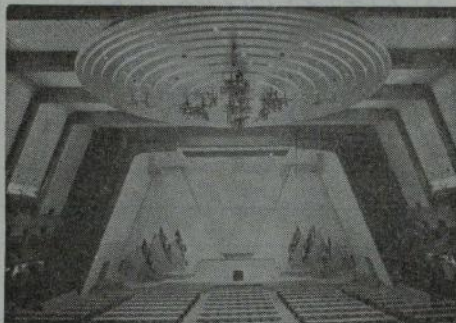
三屏依文、挨拶、大会宣言

決議文、土産品贈呈、謝辞

大会旗降納、その他。

6時00分 京府仏主催サヨナラパーティ

京都国際会議場



閉会式の間行われる京都国際会議場

地方大会

十月七日

▽四国地区大会(鳴門市ドイツ館)

交歓会、講演会、慰霊法要など

▽妙心寺大会(妙心寺花園会館)

献灯献花の舞、歓迎会、祝意など

▽鴨江寺大会(浜松鴨江寺)

パーティー等によるセミナーなど

十月八日

▽高野山大会(高野山金剛峯寺)

歓迎式典、山内参拝、歓迎会など

十月九日

▽比叡山大会(比叡山延暦寺)

伝統法要、山内参拝、歓迎会など

▽神奈川大会(場所等未定)

十月十日

▽移動日

十月十一日

▽新潟地方長岡大会(長岡市立劇場)

名跡参拝、檀信徒会講演など

▽埼玉地区川越大会(川越喜多院)

法要、歓迎会、寺院参拝など

十月十二日

▽栃木地方日光大会(日光輪王寺)

歓迎会、法要、山内参拝など

◎神奈川、長岡、川越、日光に関しては原則として成田より帰国。その他については原則として大阪より帰国を予定している。

WFBY行事

世界仏教青年連盟(WFBY)では、

WFB日本大会と併行して、第三回WFBY大会を開催する。

この開催にあたり全日本仏教青年会では実行委員会を設置し準備している。

大会テーマ「仏教青年は未来社会に對し如何なる貢献ができるか」

十月一日

午後三時 閉会式(増上寺)

十月二日

午後九時 会議(増上寺)

午後一時 シンポジウム()

三時 記念講演()

六時 歓迎招宴(白金迎賓館)

講師・斉藤茂太氏、演題・精神衛生あれこれ

全日本仏教婦人連盟では、仏婦独自の

歓迎行事として次の行事を行う。

十月二日

午前十一時より午後三時 東京GH

▽記念大法要 十一時より

▽記念懇親午餐会 正午より

①講演 ②来賓・主催者挨拶 ③懇談

④清興(日本無類など)

⑤茶席

全日仏婦行事

WFB大会日程

第12回世界仏教徒会議
日本大会
海外参加代表団申込情況
(53. 7. 1. 現在)

センター名	D	O	UO	OB	合計	31	シンガポール	2	3	6	1	12
1 オーストリア	2				2	32	僧伽				1	1
2 バングラディシュ	2	3	10		15	33	スリランカ	2	3	30	12	48
3 ブラジル	1	3	15	1	20	34	スウェーデン・アリンガス	2	1			3
4 ビルマ・マンダレー	2	2			4	35	「 ・ストックホルム	2	2			4
5 イギリス	2				2	36	スイス	1				1
6 フランス	2	3			5	37	タイペイ (台湾仏教会)	2	3	20		25
7 「 ・リンソン	2	3	7		12	38	中華仏教居士会	2	3	16		21
8 「 ・ベトナム	2	3			5	39	ネパール	2				2
9 ドイツ	2	3			5	40	タイ				12	12
10 香港仏教連合会	2	3			5	41	タイWFBY	1	3	1		5
11 「 仏教居士会	2	3	5		10	42	ハワイ・ホノルル	2	3	25	1	31
12 「 マカオ	2	3	4		9	43	BCAサンフランシスコ	2	3			5
13 インド・トリブラ	2	2			4	44	ソ連センター	2	3		1	6
14 「 M.B.アソカ	2	3			5	45	フランス・禅センター	2	3			5
15 「 ・ベンガル	2	3			5	46	ブラジル仏教各宗連合会	2	3			5
16 「 ・マハボデイ	2	2			4	47	インドネシア・プーサット	2	3			5
17 「 ・ラダク							計	85	114	170	30	400
18 「 ・アッサム	2	3			5							
19 「 ・ボンベイ	2	3	1		6							
20 「 ・ナグプル	2	3			5							
21 「 ・仏教々育研究所	2	3			5							
22 「 ・カリンボン	2	3			5							
23 「 ・ダライラマ	2	3			5							

D = 正式代表
O = 正式オブザーバー
UO = 非公式オブザーバー
OB = 本部役員

増上寺関係合同委

問題点につき話し合い

会議(金岡委員長、接待(板橋委員長)、式典(仲田委員長)の増上寺関係合同委員会が、六月二十三日午前十一時より、増上寺において開かれ、それぞれの部門の問題点等について話し合った。

- 一、増上寺における受付案内等の件
- 一、控室、事務局室などの件
- 一、分科会等の会場確認
- 一、昼食等接待の件
- 一、稚児への依頼の件
- 一、会議と式典の時間配分
- 一、警察等への依頼の件
- 一、その他

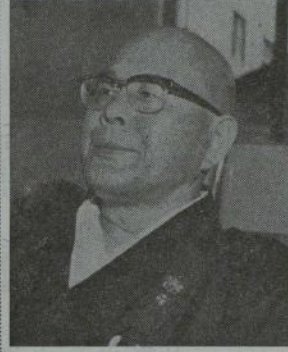
京都関係の合同委

出迎え方法など協議

式典(仲田委員長)、接待(板橋委員長)の京都関係合同委員会が、六月二十七日、京都国際会議場において開かれ、京都駅到着よりスケジュール全般にそって討議された。

- 一、京都駅での出迎え方法
- 一、市内名刹寺院参拝の時間帯や参拝の方法などについて
- 一、会議場における受付、案内
- 一、サヨナラパーティ終了後の帰路配車について
- 一、サヨナラパーティ、記念品などについて
- 一、その他

全仏新理事長に町田宗夫師



全日本仏教会は田辺哲彦理事長の辞任により、しばらく空席状態にあった理事長について、さる五月二十九日の理事会において新理事長に選出された町田宗夫師（曹洞宗々務総長）が、このほど受諾し正式に決定した。【写真は町田宗夫師】

初の常務理事会開く 新理事長があいさつ

新理事長就任後、初の常務理事会が七月七日、ソートビルで開かれた。

町田理事長の就任挨拶のあと、議事録署名委員に松村、桜井師を選出し、数件の人事案件について議事に入った。

「WFB日本センター代表」については、正式代表に町田、桜井の二名、オブザーバーに山本杉、花山、松海、加えて仏青より一名の計四名を決めた。

「大会役員」は、正副総裁は置かないこととし、正副会長以下顧問、参与、相談役は、全仏正副会長以下各宗管長、総長のほか理事、評議員、県仏代表の職務就任とし、顧問の中、政界関係は各宗推薦の上、総務委員会に一任された。

また、財界関係の募財のため「特別募財委員会」の設置と柳委員長ほか副委員長

昭和五十三年八月一日発行
八月号 第二四一号

発行人 齋藤 正浩
編集人 安本 利正

副 齋藤 正浩
本 安本 利正

発行所 財団法人 全日本仏教会

全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五フ五（東京本願寺内）
電話 〇三（八四三） 六三四一〜三

専門委員全員を再任

全日本仏教会では、任期満了にともなう各専門委員の選出について協議し、第十二回WFB日本大会をひかえ全員再任し、ひきついでに就任いただくこととなった。（順不同・敬称略）

組織専門委員

高辻 四雄、桜井 大乗、久保 聖太清、土

持良 栄、郡司 博道、清水 谷孝尚、神野 真一、鈴木 雷孝、船口 子、小林 昭延、美濃 部薫一、持田 貫寛。

文化専門委員

真溪 義貫、摩尼 清之、金岡 秀友、白川 良純、島田 喜久子、門屋 大寿、若林 隆光、中根 専正、塩入 亮達、伊藤 完夫、榎原 帰逸、井上 白宏、宝田 正道、堀 秀之、河原 辰晴。

国際専門委員

麻布 照海、村野 宣忠、佐伯 真光、花山 勝友、松壽 弘道、佐藤 良純、伊藤 堅純、近藤 隆敬、黒田 武志、織内 七郎、柳 了堅、古宇田 亮文、西村 輝成、奈良 康明、望月 良晃、長田 順海、川島 宏之、山口 貴美子。

◆掲◆示◆板◆

香川県知事選

全仏推薦候補

①推薦団体 ②略歴
大野 よしのり 42歳 自民



①香川県仏教会
②東京大学法学部
③大蔵省関税局国際第二課長、国際金融局国際機構課長

事務総局録事(七月)

五日 国際専門委員会
六日 局内会議

椋内 大臣来局

七日 常務理事会

十一日 日宗連理事会

仏教鎮仰会お盆まつり出席

十九日 局内会議

歓迎会
迎賓館打ち合せ

WFB事務局録事(七月)

一日 記念事業小委員会

三日 正副委員長会議

財界勸募委員会

仏教英語研究会

新潟県仏へ

山形県仏へ

六日 仏教英語研究会

七日 局内会議

九日 東仏レベアジョン打ち合せ

十日 救援委員会

財界勸募委員会

仏教英語研究会

十八日 総務委員会

十九日 局内会議

二十一日 特別募財委員会

ブラジル移民70年祭

ブラジル日本移民七十年祭記念行事として行なわれた「開拓先亡者仏式追悼大法要」には全日仏より加藤海晃総務局長が出席し、大谷会長のメッセージを代読し、ブラジル移民で亡なられた人々に追悼の意を表した。